

福島大学 秋のオープンキャンパス

10月20日 SAT

9:30~14:30

※9:00~ 受付開始

人文社会学群

人間発達文化学類
経済経営学類
行政政策学類(昼間・夜間主)

理工学群

共生システム理工学類

農学群

食農学類

学類説明会

各学類の教育内容などを説明します。

[行政政策学類]	10:30-11:30	L-3
[共生システム理工学類]	10:30-11:30	L-2
[経済経営学類]	11:40-12:40	M-1
[食農学類]	11:40-12:40	L-2
[人間発達文化学類]	13:00-14:00	L-4

学類企画 (模擬講義等)

各学類の特別企画に参加してみよう!
(内容は裏面をCheck!)

[人間] ●10:30~11:30
[経済・理工・食農] ●13:00~14:00
[行政] ●11:40~12:40 ●13:00~14:30

入試相談会等

入試相談会、学生相談、生協相談(住まい)

●10:00~14:00

【同日開催】

食農学類「スタートアップシンポジウム」
15:00~17:00 L-2教室

詳細は<http://www.agri.fukushima-u.ac.jp/>をご覧ください。



※大学構内には駐車場等が少ないため、ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。

申込不要

副学長特別講演 / 進路講演

特別講演を開講します。(内容は裏面をCheck!)

[副学長特別講演] ●9:30~10:10 ●10:15~10:55
●11:05~11:45 ●12:00~12:40
[進路講演] ●9:30~10:10





夏に参加できなかった3年生、 これからを考える1~2年生、 皆さんの参加をお待ちしています!



キャンパスツアー(9:30~14:00)
所要時間15分

SCHEDULE

講演名	講師等	時間	教室	テーマ・概要
副学長特別講演	三浦 浩喜 副学長 (教育・学生担当)	9:30 ~ 10:10	L-3	「学ぶ力 ~実践で自分を変える、社会を変える~」 若者が社会に出て活躍するためにはどのような力が必要なのか、その力を大学で身に付けるためにはどのような教育が必要なのか、大学で身に付ける学びなどをわかりやすく語ります。
	中田 スウラ 副学長 (総務担当)	10:15 ~ 10:55	M-2	「未来への力 ~地域とともに歩む福島大学~」 “学ぶ力”が地域の未来を創り出す。地域とつながり地域未来の創造に努力する福島大学の取組を紹介します。
	塘 忠顕 副学長 (学術情報・大学間連携担当)	11:05 ~ 11:45	M-2	「つながる力」 福島県内の大学等の連携組織「ACF」の事業を紹介します。福大生として、他大学等の学生と学べます。 ※ACF(アカデミア・コンソーシアムふくしま=福島県内の高等教育機関の連携組織)
	伊藤 宏 副学長 (研究・地域連携・就職担当)	12:00 ~ 12:40	L-4	「働く力 ~若者のキャリア形成と福島大学のキャリア支援~」 若者はどのようにキャリアを形成し、働く力を身に付けていくべきかを、福島大学のキャリア支援の現状とともに話します。
大学概要説明 (主に保護者対象)	塩谷 弘康 副学長 (広報・入試・グローバル化担当)	9:30 ~ 10:10	M-1	平成31年4月「福島大学が変わる」—全学再編について— 大学概要及び平成31年4月「全学再編」として、①既存組織の見直し、②食農学類設置、③組織見直しを踏まえた教育改革等をお話します。
		12:00 ~ 12:40	M-2	
進路講演	中村 肖三 アドミッションオフィサー	9:30 ~ 10:10	L-4	「悩む力 ~思い描く進路~」 対象：主に高校1年生 高校卒業後、自分の進路・進学をどのようにデザインするかを高校生活の早い段階から思い悩みながら考えてみましょう。
学類企画 人間	人間発達文化学類 模擬講義 講師 住吉 チカ	10:30 ~ 11:30	L-4	「認知心理学はどのような学問か」 私たちは、周囲から絶え間なく情報を受け取っています。認知心理学は、低次(感覚・知覚)から作業記憶、さらには長期記憶・概念形成・推論に至るまで、人間における情報処理過程を研究する分野です。さらに、私たちが瞬時・自動的にしている認知処理が「当たり前」ではなくなる「認知機能障害」についても述べたいと思います。認知機能障害について知ること、健常者の認知処理をより深く理解するのに役立つとともに、精神疾患や発達障害の方々についての理解も深められるからです。講義を通して心理学全般にも興味を持って頂ける機会になれば、と思っています。
学類企画 行政	行政政策学類 公開授業 講師 福島 雄一	13:00 ~ 14:30	L-3	「現代法学論Ⅰ」(夜間主：現代教養コース 公開授業)(90分) 日本人はルールを守り遵法精神が高いと言われてきましたが、現在も胸を張ってそういえるのか怪しくなってきました。この原因を考えるには、法律とはそもそも何であり、なぜ人々は法律に従わなければならないのかという問いに答える必要があります。本講義は「法とは何か?」という視点からの「法学入門」になります。
	行政政策学類 ミニ・パネル ディスカッション 「政治過程論」演習参加学生 大黒 太郎(教員)	11:40 ~ 12:40	L-3	「私たちが飯館村でやっていること、目指していること—行政政策学類生が目指す被災地の復興」 震災以前から、行政政策学類と深いつながりのあった飯館村。原発事故後の避難から帰村までの間、学生たちは、それぞれの時期に現場で真に必要なことは何かを模索しながら、村民や村行政と手を携えて活動を作ってきました。私たちの7年半を紹介し、そのなかで学んだこと、そして多くの人に伝えたいことを報告します。
学類企画 経済	経済経営学類 模擬講義 講師 根建 晶寛	13:00 ~ 14:00	M-1	「これまでの社会情勢を振り返って次世代の学生さんは何をできるか」 ここ10年ほどリーマンショックやEUの離脱、政権交代といった金融市場の動向に大きな影響を与える出来事があり、わが国企業の倒産も少なくありません。少子高齢化や一連の日本企業の実態、AIの導入などの社会情勢も振り返り、学生さんがどのように将来、社会に貢献できるか一定の示唆を与えていきたいと思えます。
学類企画 理工	共生システム理工学類 模擬講義 講師 中村 和正	13:00 ~ 14:00	M-2	「古くて新しい炭素材料の世界—炭焼きからカーボンナノチューブまで—」 皆さん、炭素材料(カーボン材料)について、どんなイメージを持っていますか? ある人は木炭、ある人はスポーツ用品、ある人はリチウムイオン電池、ある人は航空機翼、ある人はナノチューブ、など様々な材料を思い浮かべると思えます。本講義では、前半はなぜ炭素材料は古くから様々な用途に使用されているかを概説し、後半は炭素繊維やカーボンナノチューブについて作り方などを中心に概説します。
学類企画 食農	食農学類 模擬講義 講師 生源寺 真一	13:00 ~ 14:00	L-2	「農業がわかると社会のしくみが見えてくる」 食料自給率で農業のことがわかるのか。先進国=工業国、途上国=農業国は本当なのか。食料と農業をめぐるこんな基本的な問いについて、皆さんと一緒に考えてみたいと思えます。農学は経済学などの社会科学も含んでおり、意外に奥の深い学問であることを知っていただく機会になることでしょう。
	研究紹介ポスター展示	10:00 ~ 14:30	S棟1F	食農学類の研究紹介ポスター展示を行います。
学生企画	学生生活紹介 (生協学生委員会)	10:30 ~ 11:00	M-1	モギー先輩が驚く初耳学 大学生の生活の実態を、あの某バラエティ風に紹介します。